

## 博物館日誌

- 1/6 (土) 企画展関連ワークショップ「オリジナル絵葉書を作ろう！」  
10:30、13:00 地下展示室 参加者：14人
- 1/7 (日) 企画展関連ワークショップ「オリジナル絵葉書を作ろう！」  
10:30、13:00 地下展示室 参加者：17人
- 1/7 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (鍵盤)、14:00 (アジア)  
参加者：40人
- 1/8 (月) 楽器づくりワークショップ「とり笛をつくろう！」  
10:30、11:30 地下展示室 指導：ボランティア 参加者：15人
- 1/12 (金) 聖隷クリストファー中学校特別授業 9:30～15:00 展示室  
講師：田上知穂 (聖隷クリストファー中・高等学校教員)、  
嶋和彦 (当館館長)、梅田徹、佐藤さくら、野口夏菜 (当館職員)  
生徒：中学1年生50人
- 1/13 (土) 企画展関連ワークショップ「オリジナル絵葉書を作ろう！」  
10:30、13:00 地下展示室 参加者：14人
- 1/14 (日) 企画展「小さな可愛い世界旅行～人形・切手の楽器たち～」  
終了 地下展示室 観覧者：13208人
- 1/14 (日) 子どもワークショップシリーズ「弦が一本だけのお琴  
“一絃琴(いちげんきん)”で、日本の優しい心を感じてみよう！」  
A13:00～14:30/B15:00～16:30 研修交流センター  
講師：峯岸一水 参加者：小学生10人
- 1/14 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (鍵盤)、14:00 (第2展示室)  
参加者：21人
- 1/15 (月) 講座・楽器の中の聖と俗 音楽に息づく民族のプライド③  
ピレネー山脈の少数民族「プロヴァンス/ラングドック地方」  
19:00～20:30 1階展示室 講師：西岡信雄 受講者：19人
- 1/21 (日) 展示室ガイドツアー 11:00、14:00 (鍵盤) 参加者：39人
- 1/22 (月) ～1/29 (月) 移動楽器博物館 浜松市立瑞穂小学校
- 1/28 (日) 展示室ガイドツアー 11:00、14:00 (鍵盤) 参加者：34人
- 1/29 (月) 講座・楽器の中の聖と俗 音楽に息づく民族のプライド④  
ピレネー山脈の少数民族「バスク地方」 19:00～20:30  
地下展示室 講師：西岡信雄 受講者：32人
- 2/4 (日) 「世界を旅する音楽」 出演：川村菜穂子 (作曲、ピアノ、  
鍵盤ハーモニカ)、内山沙衣子 (クラリネット、マンドリン、  
ピアノ)、加藤雄樹 (パーカッション)、小池真梨 (フルート、  
エアロフォン、当館職員) 入場者：122人
- 2/4 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (鍵盤) 参加者：12人
- 2/10 (土) ミニ展示「世界の可愛い人形たち」、  
ミニ展示「モンゴルの文化や暮らしを知ろう！」開催  
地下展示室 5/6まで
- 2/11 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (鍵盤)、14:00 (アジア)  
参加者：67人
- 2/12 (月) 楽器づくりワークショップ「とり笛をつくろう！」  
10:30、11:30 地下展示室 指導：ボランティア 参加者：20人
- 2/12 (月) 「モンゴルの歌と踊りと馬頭琴」  
13:30、14:50 (ミニコンサート)  
14:10、15:30 (馬頭琴とモンゴル伝統衣装の体験)  
天空ホール 出演：サランモル (馬頭琴演奏グループ)、  
リュウ・ウンドス (馬頭琴、ホーミー) 入場者：161人
- 2/18 (日) 展示室ガイドツアー 11:00、14:00 (鍵盤) 参加者：67人
- 2/20 (火) ボランティア研修 鈴木楽器工場見学 10:20～12:00  
参加者：ボランティア、梅田徹、小田桃子 (当館職員)
- 2/24 (土) 楽器博物館友の会第15回学芸員とのタペコンサート  
「チェンバロとピアノによるサロン音楽の旅  
～バロックからウィнна・オペレッタ、ラグタイムまで～」  
17:45～18:45 天空ホール  
出演：中野振一郎 (チェンバロ、ピアノ)、  
川田知子 (ヴァイオリン) 入場者：111人
- 2/24 (土) 楽器博物館友の会第15回学芸員とのタペ交流会  
19:00～20:30 研修交流センター62室 参加者：63人
- 2/25 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (アジア)、14:00 (第2展示室)  
参加者：38人
- 3/4 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (鍵盤)、14:00 (アジア)  
参加者：43人
- 3/11 (日) 展示室ガイドツアー 11:00、14:00 (鍵盤) 参加者：39人
- 3/18 (日) 展示室ガイドツアー 11:00、14:00 (鍵盤) 参加者：47人
- 3/21 (水) 楽器づくりワークショップ「とり笛をつくろう！」  
10:30、11:30 地下展示室 指導：ボランティア 参加者：18人
- 3/24 (土) ミュージアムサロン「フルートとピアノ」 14:00、15:30  
天空ホール 出演：松尾圭子 (フルート/当館職員)、  
野口夏菜 (ピアノ/当館職員) 入場者：107人
- 3/25 (日) 展示室ガイドツアー 11:00、14:00 (アジア) 参加者：41人
- 4/1 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (アジア)、14:00 (鍵盤)  
参加者：62人
- 4/8 (日) 展示室ガイドツアー 11:00、14:00 (鍵盤) 参加者：29人
- 4/15 (日) 展示室ガイドツアー 11:00、14:00 (鍵盤) 参加者：57人
- 4/22 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (アジア)、14:00 (鍵盤)  
参加者：25人
- 4/29 (日) 展示室ガイドツアー 11:00、14:00 (鍵盤) 参加者：67人
- 4/30 (月) 楽器づくりワークショップ「とり笛をつくろう！」  
10:30、11:30 地下展示室 指導：ボランティア 参加者：23人

- 5/3 (木) レクチャーコンサート<パウルの響き>関連写真展  
「井生明写真展-パウルの育む黄金なる大地-」開催  
地下展示室 6/10まで
- 5/3 (木) 「深き魂の祈り～韓国のコムンゴ、チャンゴ～」  
14:00、15:30 天空ホール 出演：パク・ソニョン (コムンゴ)、  
リ・チャンソプ (チャンゴ) 入場者：214人
- 5/4 (金) 「風薫る草原～モンゴルの横笛リンベ、ヨーチンホーミー、馬頭琴～」  
14:00、15:30 天空ホール 出演：マナバル・サウガゲレル  
(リンベ、ホーミー、馬頭琴、口琴)、山本敦子 (ヨーチン)  
入場者：200人
- 5/5 (土) 「透明なきらめき～ノルウェーのハーディングフェーレ、  
セリエフルート、角笛、口琴～」14:00、15:30 天空ホール  
出演：ノルカル TOKYO (酒井絵美 / ハーディングフェーレ、  
MORTEN / セリエフルート、角笛、口琴) 入場者：233人
- 5/6 (日) 「大地の歌声～南シベリア、トッパ共和国の喉歌、  
イギル、ドシブルール～」14:00、15:30 天空ホール  
出演：寺田亮平 入場者：120人
- 5/6 (日) ミニ展示「世界の可愛い人形たち」、  
ミニ展示「モンゴルの暮らしや文化を知ろう!!」終了  
会期：2/10 (土)～5/6 (日) 地下展示室
- 5/13 (日) 展示室ガイドツアー 11:00、14:00 (鍵盤) 参加者：51人
- 5/20 (日) 楽器づくりワークショップ「とり笛をつくろう！」  
10:30、11:30 地下展示室 指導：ボランティア 参加者：11人
- 5/20 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (アジア)、14:00 (鍵盤)  
参加者：31人
- 5/26 (土) 「ハープ・リュートとキタラ・パテンテ」14:00、15:30  
天空ホール 出演：竹内太郎 入場者：111人
- 5/27 (日) 展示室ガイドツアー 11:00、14:00 (鍵盤) 参加者：53人
- 6/1 (金) ミニ展示「世界の可愛い人形たち」開催 地下展示室
- 6/3 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (アジア)、14:00 (鍵盤)  
参加者：27人

### ♪ギャラリートーク (職員が毎日数回、展示品をひとつ選んで10分間ほど解説)

- 1月 計96回 参加者：1044人  
2月 計93回 参加者：1005人  
3月 計106回 参加者：1737人  
4月 計102回 参加者：1277人  
5月 計99回 参加者：1209人

## これからの催し物

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説  
※催し物により変更もあります
- ギャラリートーク 毎日数回 展示品の解説を行います
- ミニコンサート 14:00、15:30 (各30分) 天空ホール  
不定期開催
- 特別展  
11/15 (木)～2019/1/6 (日) 明治150年記念  
「教室で出逢った唱歌と童謡～音楽教科書が語る日本のあゆみ～」
- ワークショップ  
7/28 (土) 子ども向け楽器作り体験ワークショップ  
「一休さんも吹いた笛・小さな尺八 “一節切 (ひとよぎり)”  
を作って演奏しよう！」  
13:30～16:00 研修交流センター  
講師：相良保之 (一節切研究者)
- 10/14 (日) ふじのくに子ども芸術大学  
「インドネシアの伝統芸能体験～影絵・ガムラン演奏・  
宮廷舞踊～」  
影絵人形作り 10:00～12:30 ガムラン 13:30～14:30  
宮廷舞踊体験 15:00～16:30 研修交流センター  
講師：ローフィット・イブラヒム、佐々木宏実、西岡美緒
- 10/28 (日) 親子ワークショップ「羊毛フェルトで楽器の絵を描こう！」  
13:30～16:30 (※開始時間が変更になりました)  
研修交流センター  
講師：安岡真理 (静岡県美術館学芸員)、太田紗世 (同)

●お知らせ●  
10/13 (土) 開催予定でありましたが、レクチャーコンサート  
「フランスの狩猟ホルン」は中止となりました。

### 浜松市楽器博物館だより

平成30年6月5日発行 No.123 編集 浜松市楽器博物館  
〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1  
TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129 URL <http://www.gakkihaku.jp/>



左から、伊藤修二浜松市文化振興財団代表理事、山崎奈保子さん、竹田圭佑さん、鈴木康友浜松市長

6月2日(土)に、楽器博物館の入館者数が200万人を達成し、記念セレモニーが行われました。楽器博物館は平成7年4月8日に開館、同11月に10万人、10年3月に30万人、12年8月50万人、19年1月100万人となり、開館23年2ヶ月で200万人を達成しました。200万人目の入館者は市内在住の会社員竹田圭佑さん(30)と山崎奈保子さん(28)のカップルで、浜松のものづくり産業への理解を深めようと博物館に来られたそうです。竹田さんは初めての来館、山崎さんは2回目ということでした。午後3時45分に二人は入館、職員から200万人目であることを知らされ、展示室入り口前へ。お祝いのくす玉が割られ、鈴木康友浜松市長から「認定証」とお祝いのメッセージが贈られました。伊藤修二浜松市文化振興財団代表理事からは、楽器博物館オリジナルCDとDVD、図録



などの記念品、楽器博物館職員からはお祝いの花束が手渡されました。竹田さんは「びっくりしました。うれしく思います。良い記念になりました」、山崎さんは「地元の施設を誇りに思います。ありがとうございます」と話されました。鈴木市長はお祝いのメッセージの中で「資料数、活動内容ともに、圧倒的な知名度があり、楽器のまち、音楽のまち浜松を代表する施設である楽器博物館を、さらに発展させたい」と話されました。楽器博物館は現在所蔵資料数3300点、うち展示資料数1500点という国内最大、世界でも最大級の楽器博物館で、ここ数年の年間入館者数は約9万人弱。市内だけでなく市外、県外からも多くの人が訪れる人気施設です。次は250万人の入館者が目標ですが、さて、いつ達成できるのでしょうか。楽しみです。

# ゴールデンウィークミュージアムサロン



深き魂の祈り  
～韓国のコムンゴ、チャンゴ～

日 時：平成30年5月3日（木）14:00、15:30（各30分）  
会 場：楽器博物館 天空ホール  
出 演：パク・ソニョン、リ・チャンソプ  
入場者：214人



風薫る草原  
～モンゴルの横笛リンベ、ヨーチン、ホーミー、馬頭琴～

日 時：平成30年5月4日（金）14:00、15:30（各30分）  
会 場：楽器博物館 天空ホール  
出 演：マハバル・サウガゲレル、山本敦子、  
嶋和彦（当館館長）、野口夏菜（当館職員）  
入場者：200人



透明なきらめき

～ノルウェーのハーディングフェーレ、セリエフルート、角笛、口琴～  
日 時：平成30年5月5日（土）14:00、15:30（各30分）  
会 場：楽器博物館 天空ホール  
出 演：ノルカル TOKYO（酒井絵美、MORTEN）、嶋和彦（当館館長）  
入場者：233人

5月3日（木）、大型連休最初のミュージアムサロンでは、パク・ソニョンさん（コムンゴ）とリ・チャンソプさん（チャンゴ）に韓国の伝統音楽を演奏していただきました。

コムンゴという楽器は、韓国の伝統的な弦楽器のひとつで、おことの仲間です。韓国で『楽器の王様』と例えられるこの楽器は、音楽を楽しむための楽器というより、自分の心を磨く精神修養のために使われてきました。見た目は日本の箏に似ていますが、演奏する時には楽器の片側をひざの上に置き、木のばちで弦をはじいて音を出します。1曲目はコムンゴの独奏で、韓国の宮中音楽「正歌（チョンガ）」を、2曲目以降は伝統的な太鼓のチャンゴが加わり、庶民に親しまれた音楽の「散調（サンジョ）」などを演奏していただきました。コムンゴのさまざまな奏法による表情の移り変わりや、チャンゴの躍動感ある演奏を楽しみました。



大地の歌声

～南シベリア、トゥバ共和国の喉歌、イギル、ドシブルール～  
日 時：平成30年5月6日（日）14:00、15:30（各30分）  
会 場：楽器博物館 天空ホール  
出 演：寺田亮平  
入場者：120人

5月4日（金）はマハバル・サウガゲレルさんと山本敦子さんをお招きし、モンゴルの楽器の演奏をしていただきました。サウガゲレルさんには、物語『スーホの白い馬』にも出てくる「馬頭琴」や、一人で低い声と高い笛のような声を同時に出す喉歌「ホーミー」、横笛「リンベ」や、金属製の口琴「アマンホール」の演奏をしていただきました。リンベの演奏では、鼻で息を吸いながら口からは息を出し続ける「循環呼吸」という奏法も披露してくださり、音の切れ目がない演奏に、お客様からは感嘆の声が漏れていました。また、山本さんにはモンゴルの打弦楽器「ヨーチン」を演奏していただきました。ヨーチンは台形の木の箱の上にたくさんの金属弦が張られた楽器で、その弦を竹製のバチで叩いて演奏します。余韻が長く、きらびやかな音がします。

コンサートの最後には、サウガゲレルさんのリンベ、

山本さんのヨーチンの演奏に、当館館長嶋和彦のリコーダーと当館職員野口夏菜のピアノも加わって、モンゴルの曲「わたりどり」を演奏しました。日本人にとっても、どこか懐かしい旋律の曲を味わいました。

5月5日（土）は、ノルカル TOKYO の酒井絵美さんとモーテンさんにノルウェーの民族楽器を演奏していただきました。ノルウェーの文化の話も交えつつ、楽器の説明もわかりやすくしていただきました。モーテンさんが演奏したセリエフルートは指孔がない笛で、柳の樹皮で作られており、ノルウェーでは「春の楽器」とも呼ばれているそうです。酒井さんが演奏したハーディングフェーレは、二段構造の弦をもち、楽器本体に花などの絵を直接描く「ロージグ」という可愛い装飾も施されていました。他にも山羊の角笛や金属製の口琴、山笛など様々な楽器が登場しました。

コンサート後半には、当館館長嶋和彦によるトゥッセフルート（「妖精の笛」の意）とお二人によるアンサンブルも披露していただきました。アンコールでは、酒井さんとモーテンさんが民族舞踊曲「ハリング」を演奏しながら客席をリズムカルに練り歩き、会場が一体となって盛り上がるなど、とても楽しいコンサートとなりました。



大型連休最終日の5月6日（日）は、寺田亮平さんをお招きして、トゥバ共和国の民族楽器と喉歌によるミニコンサートを開催しました。世界地図も用いながら、南シベリアにあるトゥバ共和国はどんな国で、どんな民族が暮らしているのか、また、周辺国との文化の違いや民族の関係、歴史的背景なども交えて紹介していただきました。

口琴や、民族楽器であるイギルとドシブルールという弦楽器の解説や演奏、そして喉歌のフーメイを披露していただきました。イギルとドシブルールは隣国のモンゴルの馬頭琴と似た形の弦楽器でしたが、説明を聞くと別のものだということが分かり、その音色も予想とはまた違った印象がありました。

静寂のステージに響く特徴的な喉歌と、民族楽器の草原を連想させる優しい音色、また、珍しい楽器や文化の説明に、お客様も興味深い様子で耳を傾けていました。

この4日間で、韓国とモンゴル、ノルウェー、トゥバの音楽に触れ、とても有意義な午後のひとときを過ごすことができました。



# ミュージアムサロン「ハープ・リュート」



5月26日（土）に、ロンドン在住のギタリスト竹内太郎さんによるミニコンサートを開催しました。使用したのは、ハープ・リュートとキタラ・バテンテという弦楽器です。ハープ・リュートはハープとリュートが合体したような楽器で、指で弦をはじいて演奏します。現在プロによって演奏されることはほとんどないとのことで、今回のコンサートは大変貴重な機会となりました。使用されたキタラ・バテンテの製作年は1625年頃ですが、弦は元々使われていたガット弦ではなく、金属弦に改造したものを披露していただきました。金属弦にすることで余韻を長く残すことができ、また強くはじくことで弦同士が擦れ合い、リズムを刻むような効果を生むことができるため、舞曲や歌の伴奏などで活躍しました。スコットランド民謡「エジンバラから一マイル」やスペイン舞曲「スパニョレッタ」などが演奏されましたが、どちらの楽器も現在のギターと比べると音色がより繊細で、会場のお客様が一音一音に耳を傾ける姿が印象的でした。

「19世紀の弦楽器～ハープ・リュートとキタラ・バテンテ～」  
日 時：平成30年5月26日（土）14:00、15:30（各30分）  
場 所：楽器博物館 天空ホール  
出 演：竹内太郎  
入場者：111人